



ふれあい'なのかいち



温泉ウォーキング【2024年6月9日】



ウォーキング以外にゲームなども用意されていてお子様も大喜び、入浴券や景品も沢山いただけました、また来年参加したいと思います。

温泉ウォーキングに参加して

1・2 清水 雅樹

昨年より始まりました『温泉ウォーキング』、今回初めて参加させていただきました。

場所はファインビュー室山、頂上の展望広場からスタートしてテニスコートへ下り、ジャンボ滑り台の下から登って再び展望広場へ戻るとい約1.6kmの道のり。

最初は散歩程度の軽い運動でしたがジャンボ滑り台からの登りは大変でした、汗がどっと出て、最後は太ももパンパンでゴール、ゆっくり歩いて45分程でしたが達成感がありました。



温泉ウォーキングに参加して

6・1 萩原 弘恵

昨年に続き、今年も温泉ウォーキングに娘と参加させていただきました。

当日は、薄曇りで涼しい風が吹き、ウォーキング日和でした。

最近運動不足なので、ちゃんとゴールに辿り着けるのか少しの不安を抱えながらスタートしました。

ウォーキング中は、林の中から子供達の明るい声が聞こえたり、私自身は、娘と桑の実やおもしろい形をした木を見つけたりと、様々な形で楽しむことができました。

最後の登りは少し大変だったので、やはり日頃の運動が大切なのだ改めて感じる機会になりました。



「堰」から地域を見つめてみると・・・

生活部 7・4 内山 将也

普段何気なく見ている堰ですが、「七日市場の歩み」堰を中心にして」という講座名を見かけ、堰から地域の歴史をすることに興味湧き、受講しました。

曾根原先生には、膨大な資料の中から、写真も交えて要点的にお話していただき、大変勉強になりました。七日市場にまだ村が無い頃から堰は存在し、地域の人々はその水を、開発を進めて分け合い、維持し、ときに争いを乗り越えて、今の暮らしがあることを再認識しました。先人の働きに感謝し、今ある水を大切に過ごしていきたいと思いました。

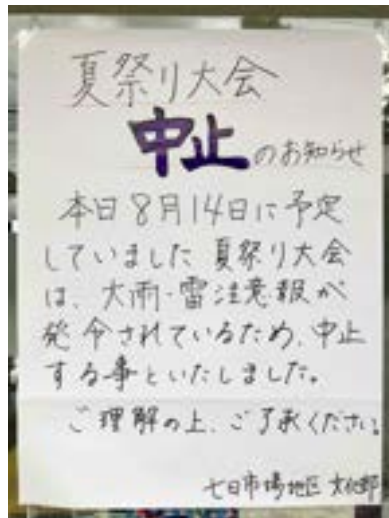


七日市場の歩み講座【2024年6月15日】

「夏祭り大会」無念の開催中止

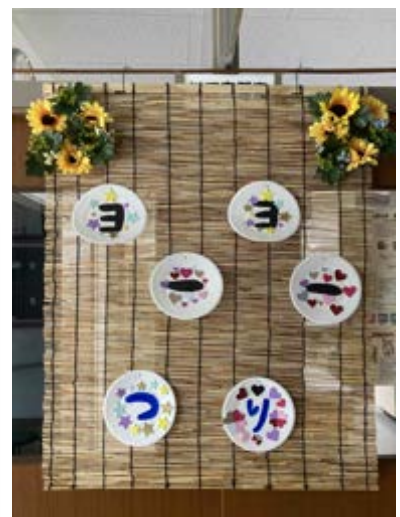
文化部長 原 航

文化部メインイベントである「夏祭り大会」は、予定されていた8月14日、気象予報とのにらめっこをした結果、苦渋の決断を下すこととなりました。大雨・雷注意報発令・・・無念の開催中止です。



注意報が発令され、残念ながら夏祭り大会は中止に決定。

年度当初から、夏祭りを担当して下さる文化部員のみなさまのご協力をいただき、準備を進めてまいりました。それぞれのブース担当者には、多くのアイデアを出していただき、よりよいお祭りにすべく、創意工夫して夏祭り大会当日に臨んでいただきました。本年度のお祭りに向けた活動・準備は、来年度以降の夏祭りがより良いイベントになることを願って、引き継がせていただきます。



「ヨーヨー釣り」の看板はすだれを使って夏を演出。

他にも工夫を凝らした催しが満載です。来年をお楽しみに・・・



何が当たるかな？ワクワクするね♪

最後に、夏祭り大会開催にあたり、公民館三役の方々をはじめ、文化部役員、部員のみなさまのご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

春季スポーツ大会に参加して 「はじめてのボッチャ」

1・1 小河 和幸

聞いたことはあるけど?という状態での参加。調べてみると、ルールも覚えやすく誰でも楽しめる。初心者でも安心です。ところが、いざプレイすると奥が深い。

参加者は年齢も性別も様々でしたが、子供たちとベテランの方々が特に活躍されていました。力や勢いではなく、投げる強さと球の配置の妙が際立ちました。

娘と参加しましたが、娘の方が早くコツを掴んで活躍していました。ボッチャは老若男女問わず楽しめるスポーツだと実感できた楽しい大会でした。



春季スポーツ大会【2024年5月26日】

銭坂邸見学会を開催

Cafe 718 加藤 崇雄

8月11日(日)、コミュニティセンター前に建つ古民家・銭坂八郎さんの家の見学会を開きました。江戸時代中期に建てられたという長い歴史を持つ建物ですが、ご事情により取り壊されることが決まりました。それをお聞きしたときに、解体の前ぜひ中を見せていただきたいとお願いをして実現したものです。

また、七日市場地区に住む方々の中には地元の古民家をよく見たことがない方もいらつしやると思ひ、希望される方が自由に見られるよう銭坂さんのご了解をいただきました。

当日は、50名を超える方が参加され、夏休みのこともあり、小学校のお子さんたちと一緒に家族で来た方も多く、銭坂さんの説明を聞きながら、家の中や庭を見て回り、懐かしく感じる方、新鮮な思いで見入る方、それぞれの皆さんが様々な思いで見学しました。また、アンケートでは、解体を惜しむ声が多数寄せられました。

ご自宅を開放し、建物のことだけでなく、昭和時代の暮らしや地域の文化を丁寧に説明してくださった銭坂さんに改めてお礼を申し上げます。



「七日市場の歴史（第六十回）」

地区の話題

曾根原 孝和

かるたを作ろう 令和5年6月、公民館（文化部）と「歴史の会」は協働して「かるた作り」の講座を開き、16名が参加されました。

講座では、「七日市場かるた」への願いを、七日市場の「良いところ」「美しいところ」「残していきたいところ」などを探しましょう、取り上げる事柄の参考には、『七日市場の歩み』を手掛かりに、自然や歴史、文化、人物、建物など見ていきましよう、呼びかけて作りました。

そして当日の参加者から、読み文字44字のうち26字分の読み札が作られ、前途に明るさが見えました。

18字分の追加募集

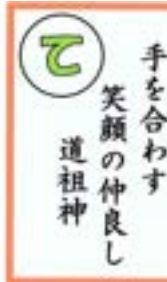
12月、公民館では残りの18字分の呼びかけをしました。そして締め切りには、合計32人から120句が寄せられました。この中には、同じ字句のダブリがあり、これを6年度早期に検討することになりました。

読み札と絵札 6年度の協働の委員会では、まずダブリをなくすこと、投稿者

の一句は必ず入れることを確認して検討しました。

心を込めて作られた中から選択することとはつらいことでしたが、委員会の多数

の意見で決めさせていただきました。



絵札は、5年度の「風景写真展」の写真に使えるものがありませんでした。



他は公民館と「歴史の会」で分担して撮り、数を揃えました。今は、分担した写真（絵札）と読み札を合わせています。



『七日市場の歩み』で解説

なお、「かるた」には、ひと札ごとに冊子を参考にした解説を付けています。（右写真）

地区の皆さんが作り、良さが一杯の「七日市場かるた」の発表会は、11月17日（日）を予定しています。

編集後記

副公民館長に就任して半年が経ちました。皆さんにアドバイスいただきながら務めています。

公民館報やホームページに掲載する写真を撮影しています。私自身こんなに色々な行事に関わることは初めてですが各部の活動への参加者が多くにぎやかで子供も大人も楽しんでいる様子はとてもいいなと感じています。皆さんと一緒に楽しみながら今後も撮影していきたいと思えます。

副公民館長 望月 武志

七日市場地区公民館報 ふれあい なのかいち

Vol.23 No.2 第65号
【発行日】2024年10月12日
【発行所】七日市場地区公民館
【発行人】杉田 浩康
【編集人】望月 武志
【監修】村上 和夫
【編集委員】
井上 勝豊（文化部）
渡邊 晃子（体育部）
木船 章（生活部）
花岡 正明（ボランティア）
松尾 常德（ボランティア）
寺沢 真弓（ボランティア）
加藤 崇雄（ボランティア）